



にほんいち すいげん さと どうしむら
日本一の水源の郷をめざして——道志村

どうしむら まつ
道志村の祭り 1月
3月

てんじんさま かんじ がつ にち
●天神様 (神地) 1月25日

●びんずる様 (戸渡) 1月14日

お釈迦様の弟子の「びんずる様」は通称「なで仏」と呼ばれ、病んでいる部分をなでると病がなおるといわれます。特別の神通力の持ち主で、いばつていた「びんずる様」を、お釈迦様が「お前は究極の悟りを得ず、この世にとどまって仏の教えを守り、人間の病を癒し、衆生を救いなさい」と命令されました。



すがわらみちぢね たんじょうび きねん こ あつ てんじん
菅原道真の誕生日を記念して、子どもが集まり天神

講をします。道志村では、色紙をつなげて旗を作り「奉納天満天神」と書いて道坂トンネル入口にある天満天神宮に納めに行きます。勉強ができるようにとか、受験合格を祈願して、絵馬に書きます。昔はこの後のご馳走が楽しみでした。



ぜんこうじ ゆうめい
善光寺でも有名な「びんずる様」はお釈迦様のお言葉を守り、今に至っても人々を救う仏様です。
戸渡地区では、今もオサンゴ(お米)を供えて祀ってます。



●二月八日 (神地) 2月8日



にがつようか かんじ がつ び
二月八日を「コト始め」といいます。二月は、一年の農作業や山仕事の開始の時だとする考えです。
針供養のお祭りともいわれ、江戸時代初期に始まったとされています。豆腐やこんにやくに折れた針を感謝しながらさし、また裁縫の上達を願います。
ツガの枝を玄関にさしたりもします。
神地地区では子ノ神社にお参りし、集会を行い、一年間の決め事を話し合います。



道志村子ども農山漁村地域協議会 道志村観光協会 〒402-0211 山梨県南都留郡道志村6894-4
TEL 0554-52-1414 FAX 0554-52-1415 URL <http://doshi-kanko.com>

このリーフレットは、農山漁村地域力発掘支援モデル事業により農林水産省から助成を受けて作成しています。